

いつもの風景に、目を向けて。

# CAMPUS\*SNAP



↑こちらが本家ローマスペイン広場。

## スペイン広場

ちょっとした休憩から待ち合わせ、飲みにも使われる我々が「スペ広」ですが、何故そもそもここは「スペイン広場」と呼ばれているのか？広大に入学すれば誰もが一度は抱く疑問です。

『スペイン人建築士が設計した？』

『闘牛場をイメージした？』

というまことしやかな噂もありますが、真実は、イタリア・ローマにあるスペイン広場に似ているから、だそうです。

では何故ローマで「スペイン広場」かということ、近くにスペイン大使館があるためだとか。映画『ローマの休日』で、オードリー・ヘップバーンがジェラートを片手に階段を下るシーンでも有名です。広生も生協で買ったアイスを片手に、おもむろにスペ広の階段を三往復くらいすれば、名画のヒロイン気分がわざわざイタリアまで赴かずとも、国内おろかなんと学内で味わえるかも（※ただし、あくまでも気分です）。

## ぶどう池

日本一の広さを誇るキャンパスには、建物・施設に留まらず何と池まで存在。ご存知、学内のほぼ真ん中に位置する池です。では何故「ぶどう池」と呼ばれているのでしょうか？

『上から見るとぶどうの形をしている』という説が割と高い支持をされているようですが、他にも『水の色が赤ワインっぽい』『あの水は危ない。ブドウ型球菌がウヨウヨいるに違いない』という「汚水説」もひそかに囁かれている模様です。

真実は、その昔、池の一帯がぶどう畑だった、ということに由来します。また、この池の水は独特な色をしていますが、それは西条の土の質によるもので、水質的には問題がないそうです。

夏には蛍が見られるそうなので、むしろ実は、水はきれいなのでしょう。「何事も見かけで判断してはいけない」ということを、ぶどう池は身をもって私たちに教えてくれているようです。

↓林に包まれたぶどう池。独特の迫力をも出し出しています。



(担当 17生 見世 梨沙)